

●行政人材の育成

- 職員の心得として「公正な判断」「誠実な対応」「明朗な手順」を知事が提示(H4~)

- 職員研修所の移転・拡充(H11)
自治能力開発センターに改称

- 「与えられる研修」から「主体的に参画する研修」へ選択制研修の導入(H13~)



- 自ら考え、業務改善に生かす「活き活きアイデア提案制度」の実施(H12~H16) 提案件数:301件

- 能力開発シートの導入(H18)

- 研修情報誌「チャレンジ」を発刊(H11~)



- 市町村職員・県職員合同研修の実施(H13~H18) 462人が参加

- 県職員を企業へ大量派遣研修(H11~)



H16からは管理職も。428人を派遣

- 社会体験研修など教員研修を充実(H12~)

- 「自主研究グループ活動」(H5~H15)、「政策研究チーム活動」(H11~H15)、「政策研究プロジェクト」(H16、H17)の推進



540人が参加



465人が参加

一口メモ

- 知事と職員の意見交換の実施
知事との意見交換を行うことにより、職員の意識改革を進めました。

- ◇ 知事と管理職員の談話会 (H4~H6)
- ◇ 知事と若手職員の自由談義 (H9、H10)
- ◇ 「サルスベリの会」(知事と職員の談話会) (H11~H15)
- ◇ 知事と職員との談話「ランチタイムトーク」(H14~H16)

16 行政経営

地域経営の政策

●市町村合併の推進

- 新庄町と當麻町が合併、「葛城市」が誕生(H16.10.1)



- 月ヶ瀬村と都祁村が奈良市へ編入合併、新生「奈良市」が誕生(H17.4.1)



- 西吉野村と大塔村が五條市へ編入合併、新生「五條市」が誕生(H17.9.25)



- 大宇陀町・菟田野町・榛原町・室生村が合併、「宇陀市」が誕生(H18.1.1)



47市町村→39市町村に

- 奈良市が中核市へ移行(H14.4.1)

- 「奈良県市町村合併推進構想」(H17~)や「新奈良県市町村合併支援プラン」(H18~)の策定と推進

●他府県等との広域連携の推進

- 全国知事会や近畿ブロック知事会議で他府県と連携した取り組みを推進



- 関西サミットの開催推進



- 三重県、和歌山県との紀伊半島知事会議を開催(H8~)

- 首都機能移転の推進

- 関西広域連携協議会の推進(H11~)
(主な活動内容)

- 「関西文化の日」の実施
- インバウンド事業の推進
- 夏のエコスタイルキャンペーンなど「関西エコオフィス運動」の推進
- 道州制など地方制度の基礎的研究

